

平成 26 年度大台ヶ原自然再生推進委員会
生物多様性（相互関係）ワーキンググループ（第 2 回）議事概要

1. 日 時 平成 27 年 1 月 20 日（火）、16：30～18：00

2. 場 所 近畿地方環境事務所大会議室

3. 出席者

【委員】 川瀬 浩 (公財) 日本野鳥の会奈良支部 副支部長
野間 直彦 滋賀県立大学環境科学部 准教授
日比 伸子 橿原市昆虫館 統括調整員
松井 淳 奈良教育大学教育学部 教授
村上 興正 元京都大学理学研究科 講師
横田 岳人 龍谷大学理工学部 准教授

【ワーキンググループ委員】 丑丸 敦史 神戸大学発達科学部 教授

【オブザーバー】 高柳 敦 京都大学大学院農学研究科 講師

(一財) 自然環境研究センター 千葉かおり 主席研究員
安齋 友巳 主席研究員
石塚 新 主任研究員
秋田 耕佑 研究員

【事務局】

環境省近畿地方環境事務所 田村 省二 統括自然保護企画官
榎本 和久 国立公園・保全整備課長
宮下 央章 国立公園・保全整備課 係員
遠藤 誠 野生生物課長
安生 浩太 野生生物課 係員
七目木 修一 吉野自然保護官事務所 自然保護官
小川 遥 吉野自然保護官事務所 自然保護官補佐
(株) 環境総合テクノス 樋口 高志 環境部マネジャー
樋口 香代 環境部リーダー

4. 概要

(1) 動植物の相互関係を把握するための調査手法について

大台ヶ原では、防鹿柵の設置により、防鹿柵内ではニホンジカによる摂食などの影響がなくなり、植物の種数や、開花個体数が増加するなど、下層植生の回復が進んでおり、動物相も含めた生物多様性の回復が期待されている。

そのため、生物多様性の現況及び回復状況を把握するための指標として、開花植物と訪花昆虫の相互関係、ハバチ類とその食草や吸蜜対象となる植物の相互関係及びスズタケ稈高の回復とコマドリの生息状況との関係にそれぞれ着目した具体的な調査手法について検討した。

① 訪花昆虫調査について

【調査地点について】

- ・ 植生の回復が著しい防鹿柵 2ヶ所程度で実施する。

【調査回数について】

- ・ 気温がある程度高くならなければ訪花昆虫は飛ばないので、調査は5月中旬以降から実施する必要がある。また、フェノロジーデータから調査地点において10月以降は植物がほとんど開花しないことがわかっているため、調査は9月まで実施するとよい。調査頻度については、5～7月は3週間に1回程度で4回、8、9月は月1回の計6回程度実施するとよい。

【調査手法について】

- ・ 1種類の花ごとに採取を行い、花を訪れた昆虫はチョウなどその場で同定可能なものは除いて基本的にはすべて採取する必要がある。
- ・ サンプルの採取は防鹿柵内を歩きながら実施し、開花植物の生育箇所でも1ヶ所あたり10分程度、防鹿柵全体で1時間半程度実施するとよい。
- ・ 防鹿柵外で、防鹿柵内と同種の植物が開花している場合は、防鹿柵内でその花にかけた時間と同程度の時間をかけて防鹿柵外でも採取を行う必要がある。
- ・ 捕獲地点については、捕獲した昆虫がとまっていた花、防鹿柵のNo.及び防鹿柵の内か外か等の情報のみ記録し、詳細な位置図については記録する必要はない。
- ・ 昆虫は1回の調査で50～100サンプル程度が採取されると想定される。
- ・ 採取した昆虫は同定しやすいように、できるだけ早期にピンディング（展翅）することが必要。
- ・ ピンディングしたサンプルは、色や形、大きさ等である程度分類した後、最低ファミリー（科）レベルまで同定を行う必要がある。
- ・ 同定については、訪花昆虫の研究を行っている神戸大学などに依頼することを検討する。

【その他】

- ・ 調査は晴れた日の午前中に実施することが望ましいので、できるだけ当日の天候を見て、すぐに調査に行けるような場所に在住の方で調査を実施してくれる方を確保する必要がある。

② ハバチ類調査について

- ・ シカの被食をうけやすく、防鹿柵内で回復が著しいものなど、生物多様性の回復状況をより明確に把握できるよう、調査対象とする植物種及びハバチ類に絞る必要がある。
- ・ 過去のハバチ類の調査データと比較できるような調査手法を検討する。調査に関しては地元NPOと協力・実施していく方向で検討し、まずは予備調査の可能性を検討する。

③ スズタケコマドリ調査について

- ・ 調査地点については、現在コマドリのモニタリング調査として5年に1度実施しているテリトリーマッピングのルートと無理に一致させず、ある程度稈高の高いスズタケが密に生えている地点など、コマドリが生息可能な場所に絞って調査を実施するとよい。
- ・ スズタケの稈密度調査などはできるだけ簡易な方法で実施できるよう検討する。

以上

（文責：近畿地方環境事務所野生生物課 速報のため事後修正の可能性あり）